

**製品名: IL-1  $\beta$  ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21130**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:31kD;Observed MW:31kD

**抗原情報**

遺伝子名	IL1B
別名	Interleukin-1 beta;IL-1 beta;Catabolin;
遺伝子 ID	3553.0
SwissProt ID	P01584
免疫原	ヒト IL1 ベータの組み換えタンパク質

**背景**

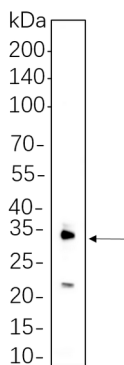
細胞局在: 分泌型インターロイキン 1 ベータ (IL1B) ヒト この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン 1 サイトカインファミリーの一員です。このサイトカインは活性化マクロファージによってプロタンパク質として産生され、カスパーゼ

1 (CASP1/ICE) によってタンパク質分解され、活性型となります。このサイトカインは炎症反応の重要なメディエーターであり、細胞増殖、分化、アポトーシスなど、様々な細胞活動に関与しています。中枢神経系 (CNS) におけるこのサイトカインによるシクロオキシゲナーゼ 2 (PTGS2/COX2) の誘導は、炎症性疼痛過敏症に寄与することが分かっています。この遺伝子と他の 8 つのインターロキン 1 ファミリー遺伝子は、第 2 染色体上にサイトカイン遺伝子クラスターを形成します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



RAW264.7 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜を IL-1 $\beta$  ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。